

(7) 平均使用料と各種の比較

前記(6)のように、国全体では上・下水道やごみ処理などに多額の費用を要している訳ですが、ここでは、下水道の場合、一般の家庭ではどの位の費用(使用料)を支出しているのかを見てみます。

まず、一般家庭1戸当たりの汚水排水(下水)量ですが、下水道統計などの各種統計資料によると、月平均約20 m³とされています。

そこで、月20 m³を使用する一般家庭での平均使用料を算定しますと、表-12のとおり、平成12年度の全国平均で約2,440円/月となっています。

表-12 一般家庭排水(20 m³/月使用)の平均使用料 (単位:円)

種別	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
指定都市	1,476	1,550	1,604	1,664	1,738
一般都市等	2,122	2,218	2,288	2,350	2,448
全国平均	2,114	2,210	2,282	2,344	2,442

(注)出典:国土交通省下水道部ホームページより

① 水道料金との比較

水道料金は、平成12年度全国平均で、1戸当たり3,083円/月と見積もられています。したがって、下水道使用料は水道料金の約8割の水準ということになります。(注)出典:国土交通省下水道部ホームページより

② 国際比較

日本(東京都区部)の下水道使用料の水準について、水道料金を基準とした相対的な価格水準で国際比較を行って見ますと、表-13のとおりとなります。

日本の下水道使用料は、ハンブルグやベルリンなどドイツの都市と比較するとかなり割安の感がありますが、ニューヨークやパリに比べると割高となっています。

ハンブルグやベルリンなどドイツの都市の料金が高いのは、第2次世界大戦により都市が灰燼に帰し、戦後白紙の状態から建設を進めていかなければならなかったことと関係があるのかどうか。

ニューヨークの料金が安いのは、プロパティタックスといわれる土地税制(下水道が利用できるなど土地の持つ利便性を税に反映する仕組み)に起因

するものかどうか。パリも安いですが、これは処理方式（仏では簡易放流が多い）に因るものかかなど、色々と深く掘り下げて検討してみると面白いと考えますが、結論的に言うと、各国と比較して日本の料金は、おおむね中間的な水準にあると言えるのではないのでしょうか。

表-13 下水道使用料の国際比較

都市別	種別	下水道使用料	水道料金(円/月)	下水道料金÷水道料金×100=(%)
東京都区部		1,705	2,605	65%
ハンブルグ		5,800	3,260	178%
ベルリン		4,220	2,940	144%
ニューヨーク		1,145	721	158%
パリ		1,401	3,269	42%
ロンドン		1,800	1,888	95%

(注) ①調査時点は 1994 年 12 月

②下水道使用料、水道料金は一般家庭が 20 m³/月使用した場合の料金

③換算レート：1 ドル=101 円、1 フラン：19 円、1 マルク：64 円
1 ポンド：160 円

④出典：国土交通省下水道部ホームページより

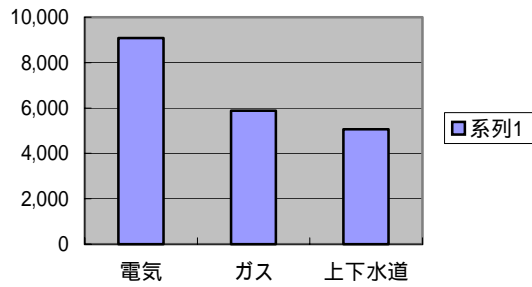
③他の料金との比較

前記の水道料金を含め、一般家庭における電気やガスなどの料金と比較してみますと、つぎのとおりです。

表-14 一般家庭一月当たりの各種料金
(平成 16 年度ベース)

種 別	金額(円/月)	備 考(出典など)
電気料金	9,086	家計調査年報(平成16年)家計調査編(2人以上の世帯)
ガス料金	5,877	同上
上下水道料金	5,065	同上(人口5万以上の都市)

図-12 各種料金比較
(一般家庭月あたり)
単位:円



単純な金額比較は、あまり意味が無いと思われませんが、電気やガスの料金に比べ上水道や下水道の料金は、合算した額としても割安さが目立つところです。